Eight Olympians Project Vol.23
［エイト・オリンピアンズ・プロジェクト］

TOKYO2020へ、
そして その先に

Presented by
盛岡広域スポーツコミッション
盛岡市 八幡平市 滝沢市 雫石町
葛巻町 岩手町 紫波町 矢巾町

盛岡広域スポーツコミッションの情報はこちらから

心優しき勝負師

植津悦典

Yoshinori Uetsu

盛岡工業高校スピードスケート部監督

profile

植津悦典（うえつ・よしのり）
1980年8月22日生まれ（40歳）、北海道帯広市出身
白樺学園高等学校（北海道）、日本大学卒業

■主な経歴・成績
白樺学園高等学校3年のときに全日本ジュニアスプリント部門総合1位。日本大学進学後もインカレ入賞を果たすなど将来を期待されたが、大学卒業を機に現役を退き、縁あって岩手県の指導者となる。

2002年4月　岩手県スポーツ振興事業団採用
2003年4月～　岩手県立盛岡工業高等学校教員
同校スピードスケート部監督

2019年の熊谷萌選手（現:山梨学院大学）に続き、今年のインターハイでも当時盛岡工高の吉田雪乃選手（現:（株）寿広）がスピードスケート女子500メートルを制した。彼女たちの才能を引き出し、オリンピックを狙う逸材に磨き上げてきたのが盛岡工高の植津悦典監督である。

取材・文●盛岡広域スポーツコミッション

今年のインターハイ、国体2冠を達成した吉田雪乃選手は、高校卒業後も活動拠点を盛岡に置く決断をした。理由は、吉田が厚い信頼を寄せる植津氏の存在だった。

「植津先生のもとで練習を続けることが、オリンピックへの一番の近道だと思ったからです」

植津氏は北海道帯広市出身で、名門白樺学園高等学校、日本大学時代、短距離のスペシャリストとして活躍したが、現役引退後は指導者の道を選ぶ。

「高校、大学の先輩からお声掛けいただき、岩手で教員になることを決めました。全日本選抜大会などで毎年のように岩手を訪れていましたから、新しい環境に対する不安は何もありませんでした」

盛岡工高スピードスケート部監督に就任して以来、インターハイ、国体で活躍する数多くの選手を輩出してきた。中でも熊谷萌、吉田雪乃とたて続けに高校チャンピオンを育て上げた手腕は、北海道、長野といったスケート強豪チームの指導者たちを驚かせた。

「萌も雪乃も才能豊かで、彼女たちと出会ったことは指導者としてとても幸運だったと思います。ただ、スケートは一緒に練習する仲間が育たなければ強い選手は絶対に生まれません。チーム力が向上することにより個人が成長し、個人が成長してチームが強くなっていくんです」

植津氏が生涯の師と仰ぐ故・坂井俊行氏は、白樺学園高を20回以上全国制覇に導き19人ものオリンピアンを育てた名将である。発想が豊かで人間的な奥行きが深く、「他人への思いやり」や「諦めない気持ち」など、アスリート以前に人間としての基本を繰り返し教え込まれたという。

植津氏の指導者としての原点は、盛岡工高に赴任した最初の夏だった。

「当時は盛岡工高の低迷期で部員は初心者を含めてたったの3人。私は夏休みに坂井先生にお願いして、白樺学園高の合宿に参加させてもらいました。そして『これだけの練習をしなければ全国でトップにはなれない。ついてこれるか』と3人に覚悟を聞きました。結局2人が部に残り、翌年には部員が6人に増えて県高校総体で31年ぶりの学校対抗優勝することができました。あの2人がいなければ今の私はありません」

小さな出来事の積み重ねが伝統をつむぎ、選手たちが活躍できる土壌を育んでいく。

熊谷と吉田は同じ高校チャンピオンでも全く対照的なタイプで、全中王者だった熊谷に対し、吉田は遅咲きで中学時代に目立った成績はない。熊谷が並外れた爆発力を発揮する先行逃げ切り型ならば、吉田はエネルギーを効率よく氷に伝え、しなやかなコーナリングで加速する追い上げ型だ。

オフシーズンも氷上練習できる環境が選手強化を後押しする（先頭が吉田雪乃選手）

熊谷は大学に進学し、吉田は植津氏のもとに残って共に世界を目指す。

「萌はオリンピックメダリストになる可能性を持った特別な選手。今、初めての壁にぶち当たっていますが、自らの力で解決してトップに上り詰めてほしいです。雪乃はどんなにきついトレーニングでも挫けない類まれな精神力の持ち主。じっくり育てて自己成長能力を身につけさせ、世界の舞台に送り出すことが私の使命だと思っています」

〝人間力なくして競技力向上なし〟を座右の銘とする植津氏らしさが滲み出る。

「2026ミラノ・コルティナ五輪の500メートル最終組で萌と雪乃が同走し、金・銀メダルを獲ること。その氷上にコーチとして私が立っていることが夢ですね」

5年後。ミラノのリンクに熊谷と吉田が大輪の花を咲かせ、小林潤志郎・陵侑兄弟がコルティナの空高く舞う日がやってくる。

トレーニングを終えた吉田雪乃選手にアドバイスする植津氏。選手たちは皆、優しく丁寧な語り口に引き込まれる（みちのくコカ・コーラボトリングリンクにて）